

# 風力発電施設における 自然環境保全の課題と提言

2007年5月10日(木) 10:00 ~ 12:00  
第2回風力発電施設と自然環境保全に関する研究会

(財)日本自然保護協会 (NACS-J)  
保護・研究部 主任 大野 正人

## はじめに ～本日の話題～

---

1. 自然環境保全に関する基本的な考え
2. 風力発電施設に対する課題認識
3. 風力発電施設が自然環境にもたらす影響
4. 解決すべき問題点
5. 最後に

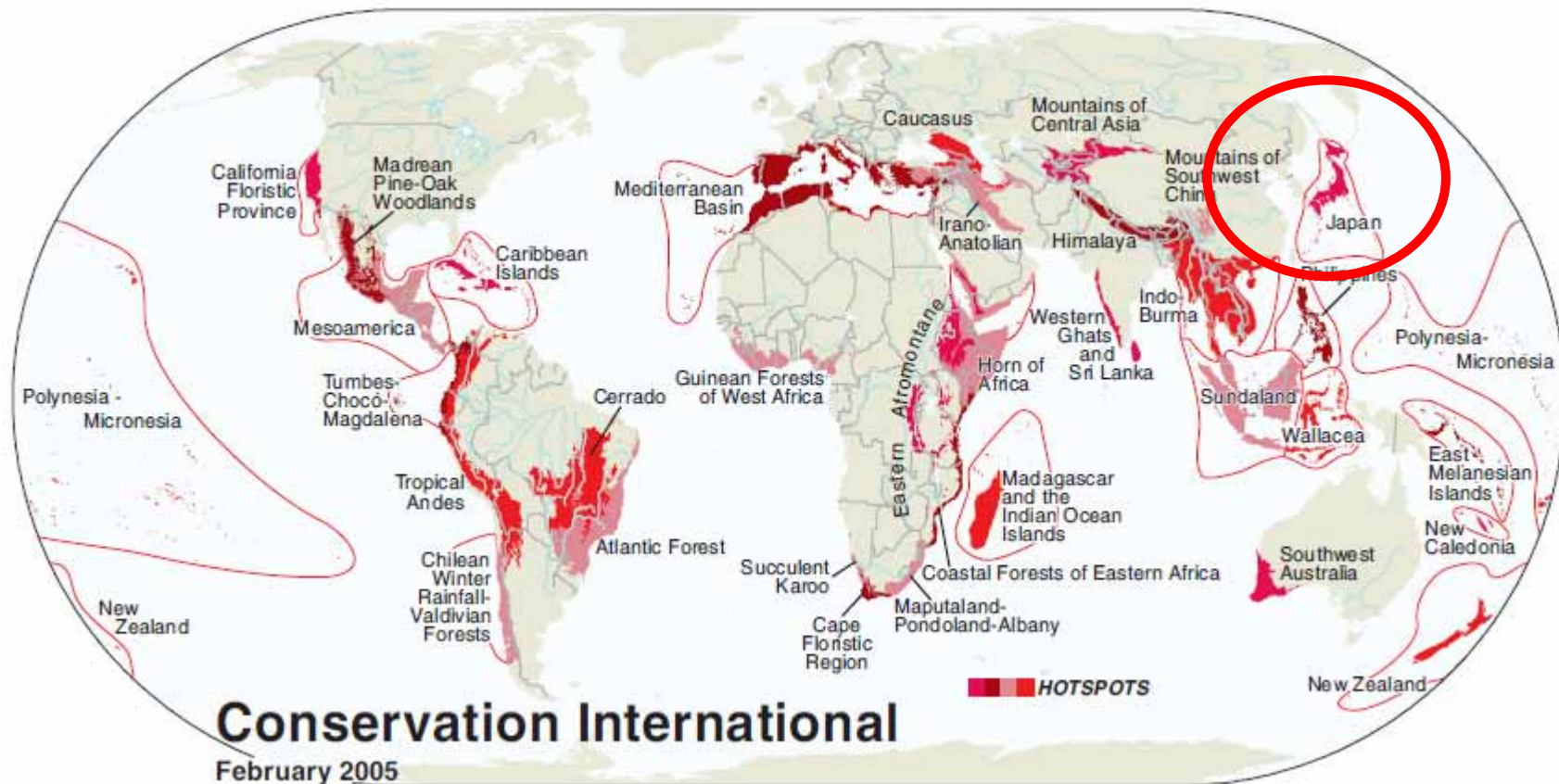
# 1. 自然環境保全に関する基本的な考え

---

地球温暖化防止への取り組みとともに  
限られた日本の国土における  
生物多様性の保全も  
取り組むべき緊急課題



# 日本は世界のホットスポット



<http://www.biodiversityhotspots.org/xp/Hotspots>

日本自然保護協会  
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

# 日本の野生生物種の状況

			哺乳類		鳥類		両生類		高等植物	
	面積 (万km <sup>2</sup> )	森林率	種数	固有種率	種数	固有種率	種数	固有種率	種数	固有種率
日本	37	67%	188	<b>22%</b>	250	<b>8%</b>	61	<b>74%</b>	5,565	<b>36%</b>
フィリピン	30	23%	158	65%	196	95%	92	79%	8,931	39%
イギリス	24	8%	50	0%	230	0%	7	0%	1,623	1%
フィンランド	30	67%	60	0%	248	0%	5	5%	1,102	-
ドイツ	35	31%	76	0%	239	0%	20	0%	2,632	0%

World Resources 2000-2001(WRI.2001)より

## 環境省版レッドリストの見直し(2006年12月) 絶滅危惧 類 ・ 類の割合

	前回	今回
鳥類	12.9%	<b>13.1%</b>
爬虫類	18.6%	<b>31.6%</b>
両生類	21.9%	<b>33.8%</b>

# 全国各地で起こる風力発電の問題

風力発電計画が海岸部から  
山岳部へ、規模・基数の大型化

地域では、  
バードストライクへの懸念、自然環境・景観の改変、住民への情報・説明不足、基本的な環境調査・影響予測の不足  
…風力発電施設への不安

狭い国土、限られた自然環境のなか、2010年度までに現状設置3倍の設置目標（300万kW）



## 2. 風力発電施設に対する課題認識

---

風力発電施設が日本の自然や社会と共存していくには「**条件整備**」が必要。

**可能な場と可能ではない場**を明確にする。

**合意形成・環境影響評価**のプロセスを明確にする。

### 3. 風力発電施設が自然環境にもたらす影響

『風力発電事業による改変区域は  
点と線であるため部分的な改変に  
抑えられ、生息環境に大きな変化が  
ないことなどから影響は小さい』

(風力発電事業者の回答書より)



### 3. 風力発電施設が自然環境にもたらす影響

---

#### < 自然環境の改変の要因 >

基礎工事

資材置き場等の造成

工事用道路の新設、既設林道の拡張

送電設備の建設

### 3. 風力発電施設が自然環境にもたらす影響

#### 長野県峰の原風力発電事業計画の事例

(標高1,700～2,000m 16基・国立公園特別地域・保安林・鳥獣保護区特別保護地区に隣接)

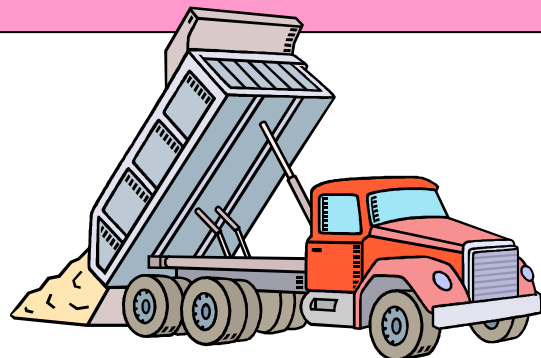
#### 事業者の見解

1,670kWの風車（高さ110m）1基の基礎工事

切土量 10tトラック約230台分（1,350m<sup>3</sup>）

排出量 10tトラック約70台分（400m<sup>3</sup>）

×16基分の土砂排出量（6,400m<sup>3</sup>）



これに加え、50m×25m、約1,250m<sup>2</sup>の資材置き場が必要となる。

### 3. 風力発電施設が自然環境にもたらす影響

---

< 危惧される自然環境への影響 >

生息地・生育地の破壊

水系の変化、土砂の流出

生息・生育環境の質の変化

バードストライク・利用空間の分断

